
やまなし産保メールマガジン第71号

【URL】 <http://www.sanpo19.jp/>

平成26年10月17日

発行：山梨産業保健総合支援センター

目次

- 【1】 エボラ出血熱等感染症対策研修の開催について
- 【2】 研修会のお知らせ
- 【3】 お知らせ「第62回日本職業・災害医学会学術大会について」
- 【4】 産業保健トピックス
- 【5】 がん医療に関する県民公開シンポジウムの開催について
- 【6】 自殺を考える（2）不安定な雇用が若者を自殺に導く
- 【7】 図書・研修用機器の貸出について

【1】 エボラ出血熱等感染症対策研修の開催について

- ★西アフリカのギニア、同国と国境を接するリベリア及びシエラレオネにおいてエボラ出血熱が流行しております。万一、山梨県内でエボラ出血熱の患者が発生した場合の連絡体制、感染症指定医療機関への当該患者の搬送等及び感染性胃腸炎についての研修を行います。

日 時 平成26年10月31日（金） 午後2時～午後4時
講 師 山崎英美（山梨県健康増進課 感染症担当 主任）
会 場 山梨産業保健総合支援センター 研修室
認定単位 認定産業医研修 生涯・実地 3単位

(10/31)

<http://www.sanpo19.jp/modules/seminar/index.php?page=article&storyid=557>

【2】 研修会のお知らせ

- ◇当センターにおける平成26年度11月～平成27年3月の研修のご案内をいたします。
※各研修に添付しておりますアドレスからホームページにアクセスして下さい。

【衛生管理者レベルアップ研修】

★第 130 回研修 「特別管理物質の衛生管理」

内容 特定化学物質は、健康障害を発生させる可能性が高い物質であることからその取扱い、管理等について学んでいただきます。

日 時 平成 26 年 11 月 7 日（金）午後 2 時～午後 3 時 30 分
講 師 望月 明彦 （産業保健相談員・（公財）山梨厚生会 山梨厚生病院
予防医学センター 副所長）
会 場 山梨産業保健総合支援センター 研修室
認定単位 認定産業医研修 生涯・実地 3 単位

(11/7①)

<http://www.sanpo19.jp/modules/seminar/index.php?page=article&storyid=558>

★第 131 回研修 「受動喫煙防止対策について」

内容 職場における受動喫煙防止対策について多角的な情報提供を行うとともに、その重要性及び必要性について受動喫煙防止対策の進め方の提案や事業場における取組についての説明を行います。

日 時 平成 26 年 11 月 7 日（金）午後 3 時 30 分～午後 4 時 30 分
講 師 小林 英利 （山梨労働局健康安全課 係長）
望月 明彦 （（一社）日本労働安全衛生コンサルタント会山梨支部長）
会 場 山梨産業保健総合支援センター 研修室

(11/7②)

<http://www.sanpo19.jp/modules/seminar/index.php?page=article&storyid=563>

★第 132 回研修 「長時間労働の抑制及び過重労働による健康障害防止対策」

内容 長時間にわたる過重労働の下では、労働者が疲労を回復することができなくなり、疲労を蓄積してしまうことがあります。このため、過重労働をなくし適切な健康管理を実施することが必要です。過重労働による健康障害防止のための総合対策について学んでいただきます。

日 時 平成 26 年 11 月 20 日（木）午後 2 時～午後 4 時

講 師 太田良 雅美 (山梨労働局 監督課 地方労働基準監察監督官)
会 場 山梨産業保健総合支援センター 研修室
認定単位 認定産業医研修 生涯・更新 3単位

(11/20)

<http://www.sanpo19.jp/modules/seminar/index.php?page=article&storyid=560>

★第 133 回研修 「安全衛生委員会の進め方」

内容 労働安全衛生法に基づき、一定の基準に該当する事業場では安全委員会、衛生委員会（又は両委員会を統合した安全衛生委員会）を設置しなければならないことになっています。当研修では、効果的な進め方等について学んでいただきます。

日 時 平成26年12月5日（金）午後2時～午後4時
講 師 森 博幸 (産業保健相談員・労働衛生コンサルタント)
会 場 山梨産業保健総合支援センター 研修室
認定単位 認定産業医研修単位申請中

(12/5)

<http://www.sanpo19.jp/modules/seminar/index.php?page=article&storyid=564>

★第 134 回研修 「複数回被災する労働者について」

内容 現場責任者からヒアリング複数回被災する労働者の共通点と改善方法

日 時 平成27年1月30日（金）午後2時～午後4時
講 師 森 博幸 (産業保健相談員・労働衛生コンサルタント)
会 場 山梨産業保健総合支援センター 研修室
認定単位 認定産業医研修単位申請中

(1/30)

<http://www.sanpo19.jp/modules/seminar/index.php?page=article&storyid=571>

★第 135 回研修 「メンタル障害者と治療の実際～症例を通して②～」

内容 メンタル障害に対する正確な知識と具体的な事例を通じ、職場におけるメンタルヘルスケアの重要性等について説明を行います。援助者等ができるだけ実際の業務に応用できる内容となっています。

日 時 平成27年2月3日(火)午後2時～午後4時
講 師 篠原 学 (産業保健相談員・山梨大学医学部附属病院精神科講師)
会 場 山梨産業保健総合支援センター 研修室
認定単位 認定産業医研修単位申請中

(2/3)

<http://www.sanpo19.jp/modules/seminar/index.php?page=article&storyid=572>

【リラクゼーションの理論と実践研修】

内容 ストレス状態から自己コントロールによってリラックス状態に移行させるための理論とテクニックを身につけていただきます。

日 時 2回目 平成26年11月26日(水)午後2時～午後4時
3回目 平成26年12月17日(水)午後2時～午後4時
4回目 平成27年 1月28日(水)午後2時～午後4時

講 師 百々 雅子 (産業保健相談員・山梨県立大学 看護学部教授)
会 場 山梨産業保健総合支援センター 研修室
認定単位 認定産業医研修 生涯・実地 3単位

(11/26)2回目

<http://www.sanpo19.jp/modules/seminar/index.php?page=article&storyid=561>

(12/17)3回目

<http://www.sanpo19.jp/modules/seminar/index.php?page=article&storyid=566>

(1/28)4回目

<http://www.sanpo19.jp/modules/seminar/index.php?page=article&storyid=570>

【職場のメンタルヘルス相談員のためのステップアップ研修Ⅱ-④(4回シリーズ)】

【職場のメンタルヘルス相談員のためのステップアップ研修Ⅲ-①～④(4回シリーズ)】

内容 職場でメンタルヘルスの相談に携わっている方々を対象に、よりステップアップした技量の習得を目指し、事例を基に検討します。様々なケースによる「相談対応力の強化」に着目し、メンタルヘルスクア推進のための相談対応の実践力を習得していただきます。

日 時 II期 4回目 平成26年11月12日(水)午後2時～午後4時30

分

Ⅲ期 1回目 平成26年12月10日(水) 午後2時～午後4時30分
2回目 平成27年 1月14日(水) 午後2時～午後4時30分
3回目 平成27年 2月 4日(水) 午後2時～午後4時30分
4回目 平成27年 3月11日(水) 午後2時～午後4時30分

講師 菅 弘康 (産業保健相談員・すげ臨床心理相談室所長 臨床心理士)

会場 山梨産業保健総合支援センター 研修室

認定単位 認定産業医研修 生涯・実地(3単位)(Ⅱ期 11/12のみ)

認定産業医研修単位申請中(Ⅲ期 12/10・1/14・2/4・3/11)

※原則4回受講ですが個別でも受講可

(11/12)

<http://www.sanpo19.jp/modules/seminar/index.php?page=article&storyid=559>

(12/10)

<http://www.sanpo19.jp/modules/seminar/index.php?page=article&storyid=565>

(1/14)

<http://www.sanpo19.jp/modules/seminar/index.php?page=article&storyid=568>

(2/4)

<http://www.sanpo19.jp/modules/seminar/index.php?page=article&storyid=573>

(3/11)

<http://www.sanpo19.jp/modules/seminar/index.php?page=article&storyid=576>

【産業カウンセリング研修 Ⅱ-④(4回シリーズ)】

【産業カウンセリング研修 Ⅲ-①～④(4回シリーズ)】

内容 産業現場における様々な問題(メンタルヘルス他)について、カウンセリング(相談業務)を実際に行う場合を想定し、必要な知識と傾聴スキルを習得し実践的に学んでいただきます。

日時 Ⅱ期 4回目 平成26年11月28日(金) 午後2時～午後4時30分

Ⅲ期 1回目 平成26年12月19日(金) 午後2時～午後4時30分

2回目 平成27年 1月23日(金) 午後2時～午後4時30分

3回目 平成27年 2月27日(金) 午後2時～午後4時30分

4回目 平成27年 3月27日(金) 午後2時～午後4時30分

講 師 中村 幸枝（産業保健相談員・エヌ心理研究所所長 産業カウンセラー）

会 場 山梨産業保健総合支援センター 研修室

認定単位 認定産業医研修 生涯・専門（3単位）（11/28のみ）

認定産業医研修単位申請中（Ⅱ期 12/19・1/23・2/27・3/27）

※原則4回受講ですが個別でも受講可

(11/28)

<http://www.sanpo19.jp/modules/seminar/index.php?page=article&storyid=562>

(12/19)

<http://www.sanpo19.jp/modules/seminar/index.php?page=article&storyid=567>

(1/23)

<http://www.sanpo19.jp/modules/seminar/index.php?page=article&storyid=569>

(2/27)

<http://www.sanpo19.jp/modules/seminar/index.php?page=article&storyid=575>

(3/27)

<http://www.sanpo19.jp/modules/seminar/index.php?page=article&storyid=577>

【3】お知らせ 「第62回日本職業・災害医学会学術大会について」

大会のテーマは「勤労者医療・災害医療の新たな展開」であり、事業所におけるメンタルヘルスの課題と対策を対象としたシンポジウムでは、改正労働安全衛生法の目玉である労働者のストレスチェック制度について厚生労働省の労働衛生課長にお話しをいただくなど、タイムリーな企画も準備しており、人事労務担当者、行政職員にも有意義な内容を多く含んだものとなっています。

この学術大会は、例年多くのセッションが日本医師会による産業医障害研修に係る単位認定の対象となっており、今回も13セッションで単位取得がみとられています。日本医師会認定産業医研修（生涯研修）のほか、産業看護職継続教育システム、実力アップコース、中央労働災害防止協会THP指導者レベルアップ研修などの単位取得も認められています。

会 期 平成26年11月16日（日）～11月17日（月）

場 所 神戸国際会議場

神戸市中央区港島中町6-9-1

詳細は下記よりご覧下さい。

<http://www2.convention.co.jp/jsomt62/index.html>

【4】産業保健トピックス

腰痛予防対策講習会（社会福祉施設、医療保健業向け）が開催されます。

腰痛は、職業性疾病（労働災害）の約6割を占め、特に高齢者介護施設等で大幅に増加しています。

この講習会は、19年ぶりに改訂された「職場における腰痛予防対策指針」をわかりやすく開設したテキストを用い、動画でも説明し、実技も行う内容となっています。

日 時 平成26年12月11日（木）

社会福祉施設向け 10:00～12:30（受付9:30～）

病院・診療所向け 14:00～16:30（受付13:30～）

場 所 山梨県立中小企業人材開発センター（甲府市大津町2130-2）

詳細は、中央労働災害防止協会のホームページを参照してください。

https://www.jisha.or.jp/seminar/health/h3700_youtsu.html

Webでの申し込みをお願いします。

【5】がん医療に関する県民公開シンポジウムの開催について

★本県における死亡原因の第1位はがんであり、その中でも肺がんは死亡原因のトップにあります。当シンポジウムでは、肺がんに関する最新治療や禁煙対策などをテーマとしたわかり易い講演内容となっております。

日時：平成26年12月6日（土）13:30～16:30

場所：山梨県立文学館 講堂（甲府市貢川一丁目5-35）

※お問い合わせ・お申し込みは下記によりお願いいたします。

山梨県福祉保健部健康増進課

〒400-8501

山梨県甲府市丸の内1-6-1

電話 055-223-1497 FAX 055-223-1499

Eメール kenko-zsn@pref.yamanashi.lg.jp

【6】自殺を考える（2）

自殺を考える（2） 不安定な雇用が若者を自殺に導く

産業保健相談員 小田切陽一（山梨県立大学）

近年のわが国の自殺の増加の背景に、雇用や経済環境の悪化が関連していることは、しばしば論じられているところである。ところが自殺のように、社会集団中で起きている事象について、その集団を構成している人々の年齢、時代、世代が移り変わる中で、それぞれの固有の影響にまで踏み込んできちんとした分析を行って、それぞれの影響にまで言及した研究は数少ない。

時代が進んでゆけば、集団を構成している人々の年齢は加齢し、また同じ年齢層を構成する人たち（たとえば若者）でも時代が違えば、異なる社会背景の中で生きていることから、異なる影響を受けて当然である。自殺の増減について、中高年はハイリスクだからとか年齢の影響として片付けてしまったり、経済の低迷期だからと時代のせいにしてしまうのは簡単だが、正確ではない。私は世代分析を通じて、こうした社会現象の年齢効果、時代効果、そして生まれ世代に特有の効果測定する研究を続けている。ここでは、近年のわが国の自殺の状況について分析し、男性の完全失業率と雇用形態の違い（正規・非正規雇用）の影響について、興味ある結果があるので紹介しよう。

失業と自殺の関連は、時代と地域を越えた万国共通の自殺要因の一つでもある。つまり生活を維持するための仕事が確保できているかないかは、私たち人間の基本的な生存要求を満たす必要条件ともいえよう。バブル経済崩壊後の1993年以降の年齢階級別の完全失業率（労働力調査による年平均値）の変動と自殺率の変動が、年齢や時代、世代によってどのようにリスクが異なるのか分離して、そのリスクの変動曲線を重ね合わせてみた。

その結果、年齢では40歳から50歳代の失業リスクの増大と自殺リスクの増大が並行しており、時代ではバブル経済の崩壊1993年以降2003年頃までの失業リスクの増大と自殺リスクの増大が並行していたことが明らかになった。また世代の影響をみると1955-57年生まれを境に、以降の世代で自殺リスクが増大に向かい、失業リスクと並行して自殺リスクの増大が一段と高まりを見せているのが、就職氷河期に社会に歩み出そうとした世代にあたる1976年生まれ以降の若年世代である（自殺だけのリスクでみるとバブル崩壊儀の就職氷河期の入口からリスクが増大する）。

一方、雇用の形態別に正規雇用者と非正規雇用者のリスクと自殺リスクを比較してみたところ、非正規雇用のリスクと自殺リスクとの間には密接な関係が認められ、年齢では45歳から64歳の中高年齢層でリスクが高く、また時代的には1994年以降直近の観察年にあた

る

2012年まで、一貫して非正規雇用と自殺のリスクは並行した増大を続けている。また世代的には、やはり1968-77年生まれの氷河期世代以降で、若年になるほど非正規雇用と自殺リスクの並行したリスクの増大がはっきりと特長として捉えられる。

このような分析結果が示していることは、わが国の男性の自殺の背景には、中高年を中心とした失業と若年世代を中心とした不安定雇用などが影響を与えていることを示唆しており、中年期の失業対策や、若者の安定雇用にむけた取り組みがわが国の自殺対策にとって重要であることを示している。

【7】 図書・研修用機器の貸出について

当センターでは、産業保健をはじめとした図書・研修用機器等について無料で貸出を行っています。

初めてご利用になる方は利用者登録が必要になりますので、身分証明書等をご持参の上、当センターで手続きをお願いします。

所蔵リスト・検索等については下記のアドレスからアクセスしてください。

http://www.sanpo19.jp/modules/rental/index.php?content_id=1

※ビデオ・DVDにつきましては、平成21年12月17日をもって貸出を終了いたしました。当センター内での視聴は可能ですので、お気軽にお越しください。

=====
=====
配信の解除を希望される方は下記のアドレスからご連絡ください。

yamanashi@sanpo19.jp

【発行】 独立行政法人 労働者健康福祉機構

山梨産業保健総合支援センター

【住所】 〒400-0031 山梨県甲府市丸の内2-32-11 山梨県医師会館4階

【TEL】 055(220)7020 【FAX】 055(220)7021

【E-mail】 yamanashi@sanpo19.jp 【URL】 <http://www.sanpo19.jp/>
